



謹賀新年



新年明けましておめでとうございます

私たち東日本ユニオンは労働運動の一元化を目指し、結成から 10 年を迎えました。そして、新たに東北地方本部として再スタートをして 2 年が経過しました。組織の展望をつなぐために組織統一を行い、本部の支援の下、東北地本として奮闘出来た事にまずは組合員の皆様に感謝申し上げます

新型コロナウイルスが法律上 5 類になった事を皮切りに日常の兆しを見せる反面、世界的な人権を無視した紛争は、労働組合の基本である平和の尊さを否定し、当たり前人命を奪う現実がある事に深い悲しみを覚えます。改めて労働により家族と生られる今を私たちは守らなければならないと心に誓いたいと思います。

第 2 回定期大会以降、私たちは新たな連絡体制の確立を行い、全組合員がつながる組織強化を図ってきました。期末手当の闘いでの未加入社員、他労組組合員の声の集約や 2023 春闘における全組合員の春闘川柳への参加など多くの成果を生み出すことが出来ました。

会社は社友会主体の環境の中で大きな変化を社員に求めています。その思いが労働組合との議論の中で伝えられる事はもう無くなっています。例え変化の方向が労使共に同じであっても、その思いを現場まで届ける労働組合が無ければ一方的な押し付けとなり、そこから生じる離職や不満の現状は会社としても本意では無いはずで。

社員を動かす以上、その立場に立った労働組合と会社の関係が必要である事は、今後の JR 東日本の中で顕著に表れてくると思います。JR 東日本ユニオンはそのための組織であり、東北地方本部もその窓口でありたいと思います

「私たちは、現職組合員とエルダー組合員が大小の組織の中で繋がり、東日本ユニオンに加入している意義を共有し成り立っている。働く仲間が東日本ユニオンで良かった、ここで最後まで頑張りたいというモチベーションを是非創っていききたい」

これは昨年 of 新年の挨拶で皆さんに発した一文です。今年も変わることなくこの思いを未加入社員に伝え共感の和を広げていきたいと思ひます。

前を見据えて、体のケアを怠らず、元気に明るく歩んでいきましょう！

組合員、ご家族の皆様に幸多き一年となることをご祈念し、東北地方本部を代表し新年の挨拶といたします

J R 東日本労働組合
東北地方本部
執行委員長 佐藤光雄